

信州発、アフリカ・ウガンダにおける農民の 所得向上を目指した石抜機導入に向けた調査

～中信地域初、株式会社細川製作所の提案が採択へ～

国際協力機構（JICA）は1月20日、長野県安曇野市の株式会社細川製作所（代表取締役社長 細川康之）による、「ポストハーベストにおける所得向上を目的とした石抜機導入による付加価値向上の為の案件化調査」を「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として採択しました。本件は中信地域における初めての案件化調査採択案件となります。

細川製作所が製造する小型石抜機「HS101E」は、メンテナンスや改良を容易とし、現地の小・中規模精米業者や石抜き作業従事者でも購入可能な価格帯の製品と考えています。この石抜機の心臓部を日本から輸出し、外装等を現地で生産することで、性能とコストダウンの両立を図り、現地の小・中規模精米業者および女性を中心とした石抜き作業従事者や農民グループの所得向上を目指します。

細川製作所は、既に農林水産省補助事業にてウガンダでの石抜機試作を実施し、本調査事業は（公社）国際農林業協働協会（JAICAF）とともに現地調査を実施していく予定です。



揺動比重選別型
石抜機
「HS101E」



ウガンダでの試作
（揺動部組み付け）

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2015 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行いました。120 件の応募のうち 34 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2015 年度第 2 回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所業務課 担当：小嶋（おじま）

TEL：0265-82-6151 E-mail：jicakjv-pdt@jica.go.jp